

2009 年度（平成 21 年度）

事業報告書

自 2009 年 4 月 1 日

至 2010 年 3 月 31 日

社団法人企業メセナ協議会

I 法人の概況

1. 法人設立年月日

1990年4月20日

2. 定款に定める目的

この法人は、芸術文化活動に対する支援を行う企業相互の連絡協議を図り、芸術文化支援に係わる啓発、情報提供、顕彰等を行うとともに、企業と協力して芸術文化活動への助成を行い、もってわが国の芸術文化の向上、発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 芸術文化に関する啓発・普及
- (2) 芸術文化支援に係わる情報の収集と配布、並びに仲介
- (3) 芸術文化支援活動の調査・研究
- (4) 芸術文化支援活動の顕彰
- (5) 海外の同種の機関との交流
- (6) 企業との協力による芸術文化活動への助成
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

文化庁 文化部 芸術文化課

5. 会員の状況

種 類	当期末	前期末比増減
正 会 員	125社	△ 16
準 会 員	39社・団体	0
合 計	164社・団体	△ 16

6. 会議等の開催状況

会議名	回数	会議名	回数
理事会	3回	調査部会	4回
通常総会	2回	大賞部会	4回
幹事会	8回	研究部会	6回
新法人検討委員会	3回	助成選考委員会	6回
		メセナ アワード審査会	2回

7. 部会メンバー

2009年度の部会、新法人検討委員会メンバーは以下の方です。

(敬称略、所属は当時、社名 50 音順、◎印：部会長、座長)

<調査部会>

◎舟橋香樹(大日本印刷)、嶋田実名子(花王)、久保豊(資生堂)、
富田秀実(ソニー)、大野マリ(日本オラクル)、齊藤公治(日本電気)、
柴崎敏男(三井物産)、松代隆子(吉田秀雄記念事業財団)

<大賞部会>

◎一橋忠(資生堂)、市村友一(朝日新聞)、尾崎宣之(京都服飾文化研究
財団)、佐々木亮(サントリー芸術財団)、丹保有充(損害保険ジャパン)、
君島由子(第一生命)、田中典子(パナソニック)

<研究部会>

◎加藤種男(アサヒビール)、市村作知雄(アートネットワーク・ジャパン)、
澤田澄子(キヤノン)、樋口昌樹(資生堂)、片山正夫(セゾン文化財団)、
高萩宏(東京都歴史文化財団)、中山直人(トヨタ自動車)、
吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)、金村俊治(パナソニック)

<新法人検討委員会>

◎加藤恒夫(専務理事)、加藤種男(アサヒビール)、一橋忠(資生堂)、
片山正夫(セゾン文化財団)、舟橋香樹(大日本印刷)、
中山直人(トヨタ自動車)

II 事業の状況

1. 啓発・普及事業（6,322 千円）

1.1 セミナー、シンポジウム（3,785 千円）

2009 年度は「未実施地域でのセミナー開催」「他の協議会事業との連動」「協議会会員との協働」を主要目標としました。個々の企画は、新たな参加者を含め目標とした集客数をそれぞれクリアし、関心の高いテーマで実施できたとの実感を得ました。フィールド視察は事前セミナーを実施するなど、新しい切り口も試みしました。目標とした「未実施地域での開催」は広島で達成（助成認定地域窓口との共催）。「他の協議会事業との連動」は、評価手法のセミナーで調査事業と、寄付セミナーでは「メセナ note61 号」の特集テーマと関連付けることができました。「協議会会員との協働」では、準会員の大阪 21 世紀協会との共催が実現しました。



全 8 回のうち 5 回が共催セミナーでしたが、事業共催のメリットを次の 2 点で実感しました。①開催地域のメセナ担当者との新たなつながりを生む。事務局の知らない現地のメセナ事例を発掘できる（ex. 広島での共催）、②協議会だけでは運営面・費用面ともに困難なレベルの企画が、他機関との共催で可能となる（ex. ブリティッシュ・カウンシル、国際交流基金との共催）。今後もパートナーシップを築きつつ、協議会セミナーの新境地を開拓して参ります。

【開催実績】

※敬称略、出演者の所属は開催当時

開催日	会場	テーマ・内容	参加数
【'09-No.1】 2009 年 6 月 9 日(火)	鯉城会館（広島県民文化センター内）	<p>「企業メセナへのアプローチセミナー@広島 ～企業+アート、パートナーシップで育む地域のソフトパワー～」(共催:ひろしま文化振興財団)</p> <p>【出演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根本ささ奈(アサヒビール社会環境推進部副課長) ・田中真弓(オリエンタルホテル広島 PR&セールスプロモーション部マネージャー) ・沖田孝司(ヴィオラ奏者/マイ・ハート・コンサート代表) ・モデレーター 若林朋子(企業メセナ協議会) 	50 名



<p>【'09-No.2】 2009年 7月14日(火)</p>	<p>第一鉄 鋼ビル 地下会 議室A (東京)</p>	<p>「アートプロジェクトを未来につなげる“振り返り” ～[大地の芸術祭]の波及効果検証に学ぶ～」 【内容】 ・第1部：レクチャー①「大地の芸術祭10年間の効果調査から見えてきたこと」関口正洋(NPO 法人越後妻有里山協働機構事務局長)、レクチャー②「経済的な観点からみたアートプロジェクトの意義」山名尚志(文化科学研究所取締役) ・第2部：インタビュー&質疑応答 モデレーター 若林朋子(企業メセナ協議会)</p>	<p>56名</p>
<p>【'09-No.3】 9月4日・5日 (土・日)</p>	<p>新潟県 越後妻 有地域 (十日 町市・ 津南 町)</p>	<p>フィールド視察 2009「アートが光る地域づくりを探る！ 大地の芸術祭越後妻有アートのトリエンナーレ 2009」 【内容】 新潟県・越後妻有を舞台に3年に一度開催される国際芸術祭の第4回を視察。さらなる展開をみせる廃校・空き家再生事業(美術館や宿泊所・大学拠点として)地域間交流や雇用の場に)や新たな取組み「北東アジア芸術村」を中心に、広大なエリアに広がる作品と自然を訪ね、アートプロジェクトの継続に欠かせない仕組みづくり地域との関わり、長期事業の波及効果等を考える。</p> 	<p>23名</p>
<p>【'09-No.4】 9月8日(火)</p>	<p>第一鉄 鋼ビル 地下会 議室C (東京)</p>	<p>「“変化”の時代に必要な、文化や創造性の可能性を最大限に引き出す方法～英国 BOP コンサルティング・ディレクターに聞く、アートのインパクト～」 (共催：ブリティッシュ・カウンシル) 【内容】 ・第1部：レクチャー「文化や創造性の可能性を最大限に引き出す視点とは？」ジョセフィーヌ・バーンズ(英国 BOP コンサルティング・ディレクター) ・第2部：インタビュー&質疑応答 モデレーター 吉本光宏(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長)</p> 	<p>27名</p>
<p>【'09-No.5】 1月28日(木)</p>	<p>大阪国 際会議 場(大 阪)</p>	<p>「関西・大阪文化力会議」(主催：大阪21世紀協会、協力：社団法人企業メセナ協議会) 【内容】※協議会協力プログラム ・基調講演「文化力」高め 地域を豊かに～民間からの政策提言「ニュー・コンパクト」加藤恒夫(企業メセナ協議会専務理事) ・第3分科会「誰が支える大阪の文化<<後半>>文化振興による地域再生策の緊急提言「ニュー・コンパクト」IN大阪」加藤種男(アサヒビール芸術文化財団事務局長)、芝川能一(千島土地代表取締役社長)、土居年樹(天神橋筋商店連合会長) 他</p>	<p>80名</p>

【'09-No.6】 2月17日(水)	ブリ ティ ッ シ ュ ・ カ ウ ン シ ル (東京)	「メセナの“定番”評価指標を掘りさげる～英国 BOP コンサルティングによるワークショップ～」 (共催:ブリティッシュ・カウンシル) 講師:アレックス・ホンフレ(英国 BOP コンサルティング シニア・コンサルタント)	16名
【'09-No.7】 3月11日(木)	国際文 化会館 岩崎小 彌太記 念ホー ル(東京)	「国境を越える文化の価値～ひとりひとりが造る【文化外交】～」(共催:国際交流基金/ブリティッシュ・カウンシル/企業メセナ協議会) ・基調講演 ジョン・ホールデン(英国シティー大学客員教授、英国 DEMOS アソシエイト) ・パネルディスカッション ジョン・ホールデン、熊倉純子(東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科准教授)、渡辺靖(慶應義塾大学環境情報学部教授)	119名
【'09-No.8】 3月28日(木)	第一鉄 鋼ビル 地下会 議室 A (東京)	「楽しい寄付の最新事情—社会を変える寄付のサポーターたち」 【出演】佐藤大吾(NPO チャリティ・プラットフォーム 代表理事)、岸本幸子(NPO パブリックリソースセンター事務局長)、坂村道子(フェリシモコーポレートスタイルデザイン部コーポレートコミュニケーショングループ 東京広報 主席係長)、モデレーター 荻原康子(企業メセナ協議会 プログラム・ディレクター)	64名

1.2 全国メセナ組織との交流 (703千円)

各地でメセナ活動を行っている諸団体の連絡会である全国メセナネットワーク(加盟17団体)に引き続き参画しました。年一回の全国会議(10月)の開催ほか、メーリングリストなどを中心とした日常的な交流、企業メセナ協議会による地域メセナの推進や地域再生をうたった政策提言についての意見交換を行いました。

第14回全国メセナネットワーク会議山口大会「メセナがつなぐ町づくり」	
開催日	10月2日(金)・3日(土)
会場	ニューメディアプラザ山口、山口情報芸術センター、ホテルかめ福(山口県・山口市)
主催	全国メセナネットワーク、山口メセナ倶楽部
後援	山口県文化連盟、山口市、山口県文化振興財団、山口商工会議所、KRY山口放送、tys テレビ山口、yab 山口朝日放送、読売新聞西部本社、朝日新聞社、毎日新聞社、中国新聞防長本社、山口新聞社、サンデー山口
参加者	全国メセナネットワーク加盟団体関係者、企業のメセナ・社会貢献担当者、芸術文化団体・文化施設担当者、文化行政・文化政策関係者等約200名(当協議会からは加藤専務理事と事務局の計4名が出席。)

【10月2日（金）】

- 基調講演「企業とメセナ 企業が高める地域の価値」
西 太郎（三和酒類[株]代表取締役会長）
- シンポジウム「メセナがつなぐまちづくり」
田上 賢祐（読売新聞山口総局長）、
河野 康志（[株]マルニ代表取締役社長）、
村岡 安廣（[株]村岡総本舗代表取締役社長、全国メセナネットワーク座長）
コーディネーター：小谷 典子（山口大学人文学部教授）
- 交流会 + 山口情報芸術センター（YCAM）見学
- 記念公演鑑賞
「読売山口メセナ大賞」受賞団体による公演

【10月3日（土）】

- ネットワーク総会
- 全国メセナネットワーク会議
- アートプロジェクト見学
街中アートプロジェクト「アートふる山口」

1.3 広報活動（1,833千円）

今期は、継続して情報配信している事業のほかに、緊急提言「ニュー・コンパクト」に伴う広報活動も以下のように行いました。各メディアに継続的に取り上げられたことで、メセナなどについて一定の関心を集めることができました。

(1) 記者発表会、取材案内等

■緊急提言「ニュー・コンパクト」

公開フォーラム

開催：2009年7月28日（水）

会場：東京大学 情報学環・福武ホール

参加者数：約200名

うち参加記者等：23名

掲載件数：41件



「ニュー・コンパクト」公開フォーラム ▶

■「メセナ アワード2009」

選考結果記者発表会

開催：2009年9月30日（水）

会場：ワード資生堂

参加記者等：32名

掲載件数：119件



「メセナ アワード2009」選考結果記者発表会 ▶

■ 「2009 年度メセナ活動実態調査」
結果記者発表会

開催：2009 年 10 月 30 日（金）
会場：東京商工会議所 4 階会議室
参加記者等：19 名
掲載件数：10 件

「2009 年度メセナ活動実態調査」結果記者発表会 ▶



■ 「メセナ アワード 2009」贈呈式

開催：2009 年 11 月 27 日（金）
会場：スパイラルホール
参加者数：327 名
うち参加記者等：27 名
掲載件数：18 件

■ 国境を越える文化の価値～ひとりひとりが造る「文化外交」～

※国際交流基金／ブリティッシュ・カウンシル／企業メセナ協議会 共催セミナー
開催：2010 年 3 月 11 日（木）
会場：国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール
参加者数：119 名
うち参加記者等：11 名
掲載件数：2 件

(2) プレスリリースによる情報発信

■ 「メセナ アワード 2009」

芸術文化の振興に貢献した企業・企業財団の活動を 5 月 29 日まで募集
(4 月 6 日配信・掲載件数：39 件)

■ 企業メセナ協議会 公開フォーラム 2009

緊急提言「ニュー・コンパクト」に関する公開フォーラムを開催
(7 月 1 日配信・掲載件数：上記参照)

■ 「メセナ アワード 2009」受賞企業・活動決定

企業・企業財団の優れたメセナ（芸術文化支援）活動を顕彰
(9 月 30 日配信・掲載件数：上記参照)

■ 「2009 年度メセナ活動実態調査」結果

社会からの期待に応え、メセナ継続を堅持
(10 月 30 日配信・掲載件数：前頁参照)

※その他、年間を通じて引用多数

(3) 英語によるプレスリリースの情報配信

- 2009 Japan Mécénat Award (November 2009)
- Fiscal 2008 “Investigation Survey of
“Mécénat Activities” Result (December 2009)

(4) その他取材対応

■ 時事通信 5月20日

Pullouts of Corporate Sponsors Hitting Arts, Sports in Japan

■ 共同通信

【地域再生 新たなしるべ】問われる新政権の姿勢 資金活用へ制度整備を
(※共同通信加盟社合同企画により 37紙配信)

■ 読売新聞 11月15日

立命館大学講座「日本文化の奔流」

「文化力」高め人生豊かに 加藤恒夫さん企業メセナ協議会専務理事

■ 日本経済新聞 11月28日

文化政策「事業仕分け」で貧困さ露呈

国・地方・企業・NPO・個人 振興へ役割分担を

■ 埼玉新聞 12月1日

埼玉ビジネスネットワーク 第1弾

—企業の行う芸術文化支援（メセナ）の現状—

■ 毎日新聞 3月5日

【急接近】文化政策への提言に積極的ですね 「新しい公共」文化でも
企業メセナ協議会会長 福原義春さん

■ 朝日新聞 3月10日

企業メセナ 地道に浸透

大型企画減り、地域重視

■ BS-TBS「ココロジ」2/22、3/5

(CN インターボイス取材・撮影)

■ 「社内制度.com」メセナ×人×アート

■ その他、電話取材 50件程度

2. 情報集配・仲介事業（20,249千円）

2.1 情報誌の発行（6,743千円）

季刊の『メセナ note』61～64号を以下の内容にて発行。61号の特集「寄付は楽しい」はセミナー事業【'09-No.8】に発展し、62号は緊急提言「ニュー・コンパクト」の公開フォーラムの抄録として作成、63号はメセナアワード2009の受賞活動と関連づけた「商店街」を特集テーマとするなど他の事業との連動を深め、協議会機関誌としての性格を強めました。

また64号よりページ数を倍増（32頁）し、より読みやすいレイアウトに一新しました。さらに2010年が協議会20周年にあたることから『メセナ』の20年を特集し、福原会長、福地理事長の対談をはじめ協議会の歩みを年表で紹介するほか、各方面からのメッセージを寄せていただきました。20周年をアピールする媒体として、文化庁文化審議会等の会議やプレス関係に配布しています。

（筆者等敬称略）

61号(6/15発行) 特集:寄付は楽しい	
巻頭言	誰もが参加できる地域づくり (株)ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼 CEO / (財)文化・芸術による福武地域振興財団 理事長 福武總一郎
トップインタビュー	文化とビジネスを結び、地域の活力高める (株)シベール代表取締役社長 熊谷眞一
特集	日本の「おもしろ寄付」が増えている (株)ファンドレックス代表取締役 / 日本ファンドレイジング協会 常務理事 鶴尾雅隆
	「消費者参加型」の寄付を提供 アビビル / フェリシモ / アメリカン・エキスプレス / イオン ほかに 「寄付で世の中こう変わる！」を見える化 チャリティ・プラットフォーム 寄付による社会参加のすすめ パブリックリソースセンター アートの分野こそ、「寄付を楽しく！」
	メセナのヒント：寄付するとき大切なこと
その他	お答えします！メセナに関する質問・相談(13) 寄付でアートに「参加」しよう
	メセナ担当者のためのアート講座(13) <美術・前編> 美術館に来るのもひと苦労!? 郷 泰典 (東京都現代美術館 教育普及担当学芸員)

62号(9/15発行) 特集:緊急提言「ニュー・コンパクト」～文化による地域再生	
巻頭言	アートの時代の幕開け (財)産業記念事業財団 会長 福川伸次
トップインタビュー	地域とともに歩む本業としてのメセナ 多摩信用金庫 理事長 佐藤浩二
特集	ニュー・コンパクトのインパクト (株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室 研究員 / NPO 法人アートNPOリンク事務局 大澤寅雄
	文化による地域再生「ニュー・コンパクト」緊急フォーラム 日本再生のための新たな価値創造にむけて
	メセナのヒント：「市民主導」「地域固有」の文化活動を応援するメセナ
その他	お答えします！メセナに関する質問・相談(14)： アートプロジェクトのための経済波及効果検証
	メセナ担当者のためのアート講座(14) <美術・後編> アートを届ける場所への支援 郷 泰典 (東京都現代美術館 教育普及担当学芸員)

63号(12/15発行) 特集:わっしょい! 商店街	
巻頭言	商店街の魅力 建築家/建築史家 藤森照信
トップインタビュー	NPOを通じて、さまざまな人がつながるメセナ 第一生命保険(相) 代表取締役社長 斎藤勝利
特集	だからまちはおもしろい 店づくり・まちづくりプロデューサー/石黒コンサルティング アソシエイツ事務局代表 石黒靖敏
	映画、漫画で幅広くアピール 名探偵★浅見光彦の住む街ミステリーウォーク ほか 自分たちの祭りづくり、まち文化づくり なかのぶジヤズフェスティバル、天神橋筋商店連合会 地域と人に働きかけるアートプロジェクト 街かど美術館アート@つちざわく土澤>、沖 縄・銀天街商店街 ほか
	メセナのヒント: まちいかしのカリスマ、土居会長に聞く商店街活動の極意5カ条
その他	お答えします! メセナに関する質問・相談(15) パートナシップによるメセナの可能性
	メセナ アワード2009 受賞活動紹介 ほか

64号(3/15発行) 特集:「メセナ」の20年	
対談	福原義春(企業メセナ協議会 会長) × 福地茂雄(企業メセナ協議会 理事長)
特集	20のキーワードで読み解くメセナ・クロニクル 1988~2009年までの協議会の活動年表/文化関連動向・社会情勢
	協議会20周年へのメッセージ 内田洋一(日本経済新聞社 文化部編集委員)、太田達男(公益法人協会理事長)、川勝平太(静岡県知事)、北川フラム(アートディレクター)、小玉武(早稲田大学広報室参与/石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム対象事務局長)、佐東範一(アートNPOリンク理事長/JCDN 代表)、島田京子(日本女子大学 元理事・事務局長)、相馬千秋(アートネットワーク・ジャパン/フェスティバル/トーキョー プログラム・ディレクター)、永井多恵子(文教ジャーナリスト、国際演劇協会会長)、長沢恵美子(日本経団連事業サービス総合企画・事業支援室参事)、平田オリザ(劇作家・演出家/内閣官房参与)、村岡安廣(全国メセナネットワーク座長)、湯浅真奈美(プリティッシュ・カウンスル アーツマネージャー)、横山邦雄(新日本フィルハーモニー交響楽団専務理事)
メセナ散歩	油機エンジニアリング—前原古材の森
文化政策 ウォッチング	「文化立国」に向け、骨太で強靱な文化政策を—鳩山政権への期待 ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室長 吉本光宏

なお本誌の発行にあたっては、会員はじめ以下の企業 10 社よりご協賛をいただきました。

■協賛: アサヒビール、板室観光ホテル大黒屋、近畿ろうきん(上半期のみ)、サントリー、資生堂、損害保険ジャパン、第一生命保険、大日本印刷、ベネッセホールディングス、ワコール(50音順)

2.2 情報システムによる発信（5,939 千円）

(1) ウェブサイト (<http://www.mecenat.or.jp/>)

会員企業・団体のメセナ活動をはじめ、メセナや芸術の基盤整備に関連する情報を発信しました。月平均アクセス数は約 10 万件（ページビュー）でした。リニューアルサイトの制作を進めました（2010 年度稼働予定）。

ブログでは、情報の鮮度、臨場感、柔軟性を意識して、セミナー等の報告、外部の注目トピックなどを伝えていますが、2009 年度は特に、①政党へのアンケートや政権交代にともなう文化政策に関する最新情報など、アドボカシー活動との連動、②世界各国メセナおよび文化機関との情報交流レポート、③街中での巨大作品やパフォーマンスなど、社会的に幅広くインパクトを引き起こすアートの紹介 などが反響を集めました。

(2) メセナ活動データベース「メセナビ」 (<http://www.mecenavi.info/>)

「2009 年度メセナ活動実態調査」の回答にもとづき、企業約 540 社のメセナ活動実績を制作・公開しました。月平均アクセス数は約 2.5 万件でした。本年は、ユーザーがデータベースをより活用できるよう、「使い方」ページの改訂、各社情報における解説ポップアップ設置、外部リンクを増やすなど、ガイド機能を充実させました。

2.3 資料収集（1,430 千円）

企業メセナ・社会貢献、CSR 活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行いました。また、新聞・雑誌のクリッピング、ビデオを含む事務局内の情報ライブラリーを一般に公開しました。会員に対するレファレンス対応も積極的に行っています。

本年はインターン生の協力を得て、芸術文化・非営利活動の基盤整備に関連する専門機関の定期刊行物棚の構成を見直し、閲覧および保管しやすくなるよう、再整理をおこないました。

■公開時間：月曜～金曜日、11：00～17：30（要電話予約）

■利用者：43 件（学生・研究者、芸術団体関係者、会社員等）

2.4 出版（196 千円）

当年度は、引き続き既刊書籍の販売を行いました。協議会設立 20 周年の節目として検討していた書籍発行については、制作費の手当を含め、引き続き検討中です。

2.5 コーディネート事業（5,940千円）

会員企業や自治体、教育機関などの要請に応じて、メセナに関するご相談やアドバイスを、具体的なプログラム開発や企画協力、講師の派遣などを受託事業としてコーディネートしています。

次のコーディネート事業では、会員等の具体的なメセナプログラムの運営に際し、事務局スタッフが協働にて進めています。

企業・団体名	業務内容
トヨタ自動車	<p>「トヨタ・アートマネジメント」プログラムのコーディネート</p> <p>① アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」(www.nettam.jp)の企画・運営、月例更新(コンテンツ制作)、ブログ更新作業、サイト全面リニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月間アクセス：平均約41万件[ページビュー] (昨年約20万件) ・累計アクセス：約854万件(2004年10月～2010年3月) <p>②公募助成「トヨタ芸術環境 KAIZEN プロジェクト」の事後フォロー(昨年度採択した企画案の実現とドキュメント作成サポート)。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ネットTAMロゴマーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トヨタ芸術環境 KAIZEN プロジェクト</p> </div> </div>
アサヒビール 芸術文化財団	<p>美術展：すみだ川アートプロジェクトの企画・推進およびアサヒ・アート・フェスティバル実行委員会参加</p> <p>①すみだ川アートプロジェクト「wah：すみだ川のおもしろい」展</p> <p>会期 2009年6月20日(土)～7月20日(月・祝)</p> <p>会場 アサヒビール吾妻橋本部ビル1階ロビー(東京) すみだリバーサイドホール・ギャラリー</p> <p>共催 墨田区、アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会、すみだ川アートプロジェクト実行委員会</p> <p>後援 江東区</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>②アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会 上記展覧会が参加している「アサヒ・アート・フェスティバル2009」の実行委員として、AAF全体の運営にも協力。定例の会議に出席するほか、公募プロジェクトの選考委員、検証委員も務めています。</p>

3. 調査研究事業（12,013 千円）

3.1 「2009 年度メセナ活動実態調査」の実施（7,534 千円）

企業によるメセナ活動の実態調査は、調査部会の協力のもと4月～5月に4,384社を対象に実施し、636社から回答を得ました。

今年度の調査では企業メセナの今日的課題を探るため、時事設問として「現在、メセナ活動を継続する上で課題と感ずること」と「今後もメセナ活動を行う理由」について尋ねました。また前年度に引き続き、「メセナ活動を通じて企業が得たこと」「芸術分野と他分野の複合型メセナ活動」の実施状況についても質問を設けました。

これらの調査結果を集計し「メセナリポート」としてまとめ、10月下旬に記者発表を実施しました。また、調査結果を「メセナと地域コミュニティー」という観点から分析し、2010年3月には『2009年度メセナ活動実態調査報告書』を発行しました。

※2009年度の調査事業は、文化庁の「平成21年度芸術団体人材育成支援事業（調査研究）」に採択されました。

3.2 研究活動

(1) 研究部会／政策提言活動（4,015 千円）

■研究部会（全6回開催）

2008年度は「メセナの再定義～企業メセナの新たな展開を考える」をテーマに、設立20周年に「これからの企業メセナ像」を社会に発信することを目標に研究を進めましたが、秋に金融危機が発生。これをきっかけに、文化領域ならではの対応策を研究、緊急提言「ニュー・コンパクト」（文化振興による地域コミュニティー再生策）を取りまとめました（2009年3月）。

2009年度は、前年度のテーマを踏襲しつつ、「ニュー・コンパクト」の実現に向けて、具体的な方策を検討しアクションを起こしました。

【部会開催状況】

第1回	5/12（火）	09年度研究テーマ検討。「ニュー・コンパクト」後の展開（政党への公開質問状、公開フォーラム）。協議会定款「目的」の項。
第2回	6/26（金）	公開質問状の回答内容の分析と発信方法の検討。「ニュー・コンパクト」緊急フォーラムの内容検討。
第3回	9/10（木）	「ニュー・コンパクト」の今後の展開・実践について。
第4回	12/21（月）	平田オリザ氏との意見交換会：今後の文化政策について。
第5回	2/1（月）	協議会の今後の政策提言活動の方向性、メセナの不況対応。
第6回	3/8（月）	2010年度にむけて～元気な企業メセナをめざして（「文化力アップ、企業力アップ」。メセナにおける企業間ネットワーク構築について

■「ニュー・コンパクト」と日本の文化政策に関する「公開質問状」の送付
 提言の実現に向けて、幅広い意見を募るべく、政策立案に携わる各政党に「ニュー・コンパクト」についての評価と「文化政策マニフェスト」に関する公開質問状を送付しました。

各政党の回答原文と、回答の比較をまとめたドキュメントを協議会ウェブサイトにて公開。衆議院総選挙の時期と重なったこともあり、関係者、メディアから大きな反響がありました。

【実施概要】

送付日	2009年6月1日(月) ※回答期限 2009年6月22日(月)
送付先	国会に議席を有する政党(自由民主党、民主党、公明党、日本共産党、社会民主党、国民新党、改革クラブ) ※議席数順
回答政党	自由民主党、民主党、公明党、日本共産党、国民新党 ※議席数順
質問数	12(質問状「社会創造のための緊急提言「ニュー・コンパクト」についてのご評価あわせて「文化政策マニフェスト」に関するお尋ね【公開質問状】)

■公開フォーラム「日本再生のための新たな価値創造にむけて」の開催

「ニュー・コンパクト」の内容を発表し、広く一般の方々とその実現について考える場として、公開フォーラムを開催。企業メセナ、NPO、文化政策の専門家に加え、文化以外の領域からもまちづくりの専門家をパネリストに迎えるなど、多角的な議論をめざしました。満員の200名が参加(うちメディア23)。メディア掲載は42件、翌朝のNHKニュース、NHKラジオでも報道され、事後も多方面から関心が寄せられました。

【実施概要】

日時	2009年7月29日(水) 17:00~20:00
場所	東京大学 情報学環・福武ホール
出演 (50音順、敬称略)	上田假奈代(NPO法人こえとことばとこころの部屋代表/詩人)、片山正夫(セゾン文化財団)、加藤種男(アサヒビール芸術文化財団事務局長)、木村俊昭(農林水産省大臣官房政策課企画官)、鶴田浩一郎(NPO法人ハットウ・オンパク代表理事/ホテルニューツルタ代表取締役社長)、福武総一郎(ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼CEO/企業メセナ協議会理事)、福原義春(企業メセナ協議会会長)、吉本光宏(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長)、福地茂雄(企業メセナ協議会理事長)
内容	【第1部】緊急提言「ニュー・コンパクト」プレゼンテーション/ラウンドテーブル「文化による地域活性化策を考える~各党の施策から~」 【第2部】パネルディスカッション「ニュー・コンパクトと地域コミュニティの未来」

■報道実績 (「ニュー・コンパクト」、公開フォーラム、政策提言活動)

2009年3月16日の提言発表以降、2010年3月末までの間に、「ニュー・コンパクト」および公開フォーラム、協議会政策提言活動に関する報道や記事掲載が、100件以上ありました(インターネット報道を除く)。新聞、専門誌、テレビ、ラジオ、インターネットなど媒体は多様で、地方紙への掲載が多い、話題とされる期間が長い、などの特徴がみられました。

■鳩山首相と企業メセナ協議会理事の意見交換会

2009年12月25日、内閣官房の要請を受け、福原義春会長・福地茂雄理事長・堤清二顧問・福川伸次理事・福武總一郎理事が、鳩山由紀夫首相・松井孝治内閣官房副長官・平田オリザ内閣官房参与と、文化振興について意見交換を行いました（於：首相官邸）。協議会からの提言書「文化、芸術領域における〈新たな公共〉の実現をめざして」に沿い、文化振興の意義や現状の課題、企業メセナの現状等について意見を述べました。文化政策や寄付税制の充実、協議会と定期的な意見交換の場を持つことなどが確認されました。

■その他の政策提言活動

- 10/16 文部科学省による税制改正要望一般公募へ意見を提出
- 11/18 行政刷新会議事業仕分け対象事業について文部科学省に意見提出
- 11/24 鈴木寛文部科学副大臣に面会
- 12/4 中川正春文部科学副大臣に面会
- 12/16 文部科学政策会議にて文化政策に関する提言および意見交換
- 12/21 内閣官房参与平田オリザ氏との意見交換会（第4回研究部会）

(2) 実務担当者勉強会（メセナ若手ネットワーク）（465千円）

会員企業・団体においてメセナ業務を担当する若手スタッフによる勉強会を次のとおり実施しました。

開催日	会場	テーマ・内容（敬称略）	参加数
5月22日 （金）	京都国立 近代美術館 （京都府）	「 「展覧会による研究の公開や教育普及の取り組み」 ～（財）京都服飾文化研究財団「ラグジュアリー」展 視察～ 同財団が数年に一度開催する大規模な衣装展を視察。 また、西欧服飾の専門な収集・保存、研究・公開の取 り組み、教育普及活動の他、ワコールのメセナ活動等 について、尾崎常務理事、筒井学芸員にレクチャーい ただいた。	5名

4. 顕彰事業（14,741千円）

「メセナ アワード 2009」

本年度も文化庁の後援のもと、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」を実施しました。4月1日～5月末までの募集に対し、両部門とも147件（131社・団体）の応募があり、特に地域に根ざしたメセナ活動が多く寄せられました。

応募案件について大賞部会の協力を得ながら約3ヵ月にわたる調査・取材を行い、9月に実施した2回の審査会で次の企業および団体の受賞を決定。3年任期の初年となる審査委員には、多彩なメセナ活動についてご議論いただきました。その結果、NPOをはじめとする市民との連携により、地域に密着するさまざまな活動を選出することとなりました。

【メセナ大賞部門】

メセナ大賞 第一生命保険(相)

第一生命ホールを拠点としたNPO トリトン・アーツ・ネットワークの音楽活動への支援

「文舞」両道賞 (株)シベール

シベールアリーナ&遅筆堂文庫山形館の運営

地域ネットワーク賞 多摩川アートラインプロジェクト実行委員会

「多摩川アートライン」の取り組み

千客万来賞 天神橋筋商店連合会

商店街文化と芸能文化で街再生

歌劇な社長賞 (株)トナカイ

オペラサロントナカイの運営を通じた、サロンオペラの普及と若手歌手支援

ベスト・コラボレーション賞 明治安田生命保険(相)

「エイブルアート・オンステージ」の実施

【文化庁長官賞部門】

文化庁長官賞 京阪電気鉄道(株)

中之島線なにわ橋駅「アートエリア B1」における社学・地域連携文化活動

「メセナ アワード 2009」贈呈式 ▶

日時：2009年11月27日（金）
会場：スパイラルホール（東京・港区）



メセナ アワード 2009 審査委員（50音順・敬称略）

逢坂恵理子（横浜美術館館長）/木下直之（文化資源学、東京大学教授）/小沼純一（音楽・文芸批評、音楽文化論、早稲田大学文学学術院教授）/白石美雪（音楽評論、音楽学、武蔵野美術大学教授）/扇田昭彦（演劇評論家）/中谷巖（三菱UFJリサーチ&コンサルティング[株]理事長）/鷺田清一（臨床哲学、倫理学、大阪大学総長）/福地茂雄（企業メセナ協議会理事長）

5. 国際交流事業 (1,677 千円)

各国のメセナ関連機関との情報交換を行ったほか、海外への情報発信力強化に向けて、会員企業のメセナ・CSR 活動の英語リンクページの作成や、緊急提言「ニュー・コンパクト」、メセナアワードおよびメセナ活動実態調査のプレスリリースの英訳を実施しました。

フランス文部省、ハンガリー教育文化省、英国文化メディアスポーツ省、カタールの文化省、フランスの美術館等の関係者の訪問を受け、日本の企業メセナ活動や協議会の活動について紹介、また、国内のネットワーク強化のため、駐日韓国大使館・韓国文化院、オーストラリア大使館・広報文化部、フィンランド・センター・文化担当官を訪問し、情報交換を行いました。

本年度は以下 2 回のヒアリングを実施しました。

◆ACC/セゾン文化財団/企業メセナ協議会 共催企画

～アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC) ジェニファー・グッデール氏に聞く～
「米国の企業フィランソロピー最新事情」

2009 年 10 月 1 日 (木) 15:00-17:00 鉄鋼ビル地下 A 会議室にて、参加者約 20 名

第 1 部: レクチャー「米国の企業フィランソロピー最新事情」

講師 ジェニファー・グッデール (ACC エグゼクティブ・ディレクター)

第 2 部: インタビュー&質疑応答 進行 片山正夫 (財団法人セゾン文化財団常務理事)

◆ブリティッシュ・カウンシル/社団法人企業メセナ協議会 共催企画

英国 BOP コンサルティング・ヒアリング メセナの評価手法に関して (エピソードの活用法)

2010 年 1 月 12 日 (火) 14:30-16:30 鉄鋼ビル地下 C 会議室にて、参加者 7 名

【事務局より定性評価、定量評価についてヒアリング&ディスカッション】

アドバイザー: ジョセフィーヌ・バーズ (英国 BOP コンサルティング・ディレクター)

※2009 年度は国際メセナネットワーク会議の開催はありませんでした。

6. 助成事業（10,685千円）

6.1 助成認定業務（9,833千円）

助成認定制度利用状況

2009年度には6回の助成選考委員会を開催し、申請件数198件、認定件数180件でした。下表のとおり、申請件数、認定件数は減少しました。寄付件数、寄付金額も同様減少しましたが、寄付の平均値は同値でした。昨年度と比較して、大口寄付がなかったことが一因と推測されます（2009年度寄付金額から2008年度大口寄付を差し引くと、2008年と2009年の寄付金額はほぼ同額となるため）。

(1)認定件数

	認定件数	申請件数	備考
2009年度	180件	198件	選考委員会6回分
2008年度	227件	239件	選考委員会6回分

(2)寄付金額

	寄付件数	寄付金額	平均値
2009年度	1,474件	74,431万円	50万円
2008年度	1,540件	104,113万円	50万円

※2008年度の平均値は大口寄付(3件・27,000万円)を除いた値

(3)寄付金額分布

	2009年度	2008年度
1000万円以上	13件(1%)	16件(1%)
500～1000万円未満	15件(1%)	20件(1%)
300～500万円未満	23件(2%)	22件(1%)
200～300万円未満	31件(2%)	31件(2%)
100～200万円未満	116件(8%)	104件(7%)
50～100万円未満	116件(8%)	111件(7%)
30～50万円未満	71件(5%)	86件(6%)
10～30万円未満	558件(38%)	620件(40%)
5～10万円未満	332件(23%)	261件(17%)
5万円未満	199件(14%)	269件(17%)
合計	1,474件(100%)	1,540件(100%)

なお、助成認定制度の利用状況に関する分析「文化芸術に対する民間寄付の実態調査報告書」を2010年4月にウェブサイト公開しました。

6.2 関西事務所（851千円）

関西事務所活動状況

関西事務所（所在地：大阪府中央区・大阪21世紀協会内）の活動は、月1～2日程度、事務局（東京都千代田区）から職員が出張して行いました。助成認定制度

の相談日を設け、制度の概要説明のほかアートやメセナに関する幅広い質問・相談に応じました。

7. その他の活動

7.1 会員/メセナ関係者交流、祝賀会等の開催（※日付順）

(1) 加藤種男さんの芸術選奨受賞を祝う会

開催日時：2009年4月7日（火） 18:00～20:00

場所：カフェ・セラ Café serré（ADK松竹スクエア内、築地・東京都）

参加者：約70名

※加藤種男氏（アサヒビール芸術文化財団事務局長、当協議会研究部会長）が平成20年度（第59回）芸術選奨文部科学大臣賞を芸術振興部門で受賞されました。

(2) 会員交流会

開催日時：2009年6月12日（金） 16:45～18:00

場所：アサヒビール吾妻橋本部ビル22Fゲストルーム

参加者：59名

協力：アサヒビール（株）

(3) セゾン文化財団のドナルド・キーン日本文化振興賞を祝う会

開催日時：2009年7月9日（木） 18:00～20:00

場所：ワード資生堂（銀座・東京都）

参加者：約65名

※（財）セゾン文化財団が、第3回ドナルド・キーン日本文化振興賞を受賞されました。同賞は、米国コロンビア大学ドナルド・キーン日本文化センターが、2006年の設立20周年を機に設立したもので、海外における日本文化の振興・普及に大きく貢献した個人・団体を顕彰することを目的としています。

(4) 新年賀詞交歓会

開催日時：2010年1月19日（火） 16:00-18:00

場所：第一生命ホール及びTXカフェ（晴海・東京都）

参加者：78名

協力：第一生命保険（株）、NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

7.2 新法人への移行について

<経過>

2009年4月、5月 新法人検討委員会を開催。新法人移行後の機関設計について検討。

2009年6月 第58回理事会・第39回通常総会にて新公益法人への移行における重要事「目的、事業、機関設計等の方向」を確認。

2009年10月 新法人検討委員会を開催。定款・諸規程等の内容について検討。

2009年11月 内閣府公益認定等委員会に新法人移行後の機関設計、定款等について相談・確認。

文化庁に現行定款の一部変更申請をする件について相談・確認。

2010年3月 第60回理事会・第40回通常総会にて役員改選、名誉理事設置。現行定款の一部変更申請（文化庁）について承認。

2010年4月～ 新機関設計を反映した新役員体制が発足（※特例社団法人にて）

7.3 入会促進活動

2008 年秋以後の深刻な経済不況を反映して退会が相次ぐ中、会員の減少を食い止めるべく、積極的に入会促進活動を行いました。アプローチの方法は、企業代表者宛に福地理事長署名の勧誘書面を出状後、事務局からフォローの電話をするか、もしくは会員の方に仲介していただくかのいずれかの方法で面談を申し入れ、協議会活動を案内して入会のお願いをしました。結果は 31 社にアプローチをし、2 社（正会員）にご入会いただきました。2010 年度も、役員や会員の皆さまに情報提供や仲介のご協力をいただきながら、いっそう積極的に推進してまいります。なお、この活動によらない 2009 年度の新会員は、正会員 3 社、準会員 1 団体でした。

7.4 主な協力依頼等への対応状況

2009 年度における、主な協力依頼等への対応は、次のとおりです。

委員・講師など(30 件)

※法人名は申請当時

依頼内容	依頼元	内容(期間・開催日)
委員	横浜市開港 150 周年・創造都市事業本部	創造都市横浜推進委員会(2007 年 8 月～2010 年 3 月) ※1 年延長
委員	特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク	(特非)トリトン・アーツ・ネットワーク評価委員会(2008 年度～2010 年度)
委員	財団法人横浜市芸術文化振興財団	「平成 21 年度横浜市先駆的芸術活動助成」選考委員会(2009 年 3 月、7 月)
委員	財団法人横浜市芸術文化振興財団	「アーティストを支援するプログラム助成」審査委員会(2009 年 4 月)
委員	横浜市市民活力推進局	横浜市広報企画審議会(2009 年 6 月～2010 年 5 月、審議会 2 回)
委員	文化庁長官官房政策課	文化ボランティア活動推進事業審査委員会(6/10)
委員	横浜市都市整備局都市づくり部 都市デザイン室	横浜市インナーハーバー検討委員会(2009 年 7 月～2010 年 3 月)
委員	静岡県県民部文化学術局文化政策室	静岡県文化政策審議会(2007 年度～、7/17)
講師	社団法人日本芸能実演家団体協議会	芸団協セミナー2009 「支援申請実務ワークショップ」(8/4)
講師	財団法人浜松市文化振興財団 浜松市アクトシティ音楽院	主催者養成セミナー「企業メセナについて」(9/19)
講師	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団	「横浜アートサイト 2009 研修 地域に根差したアート活動をする市民団体に向けた助成金に関する講座」(9/26)
講師	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団	ACY アーティスト・アート NPO 向け講座「わかる! 助成金」(9/28)

委員	埼玉県県民生活部文化振興課	埼玉県文化活動サポート団体助成事業 審査委員会 (2009/5/12-2011/3/31)
委員	独立行政法人国際交流基金	2009 年度国際交流基金地球市民賞選考 委員 (2009 年 11 月～1 年間)
講師	公益財団法人東京都歴史文化財 団／特定非営利活動法人コミュ ニティアート・ふなばし	東京アートポイント計画 インター ンプログラム インターンゼミ (10/3)
委員	特定非営利活動法人子ども劇場 東京都協議会	子ども文化地域コーディネーター準備 委員会 (11/18～)
講師	特定非営利活動法人日本青少年 音楽芸能協会	企業メセナ研究会 (11/11)
講師	日本大学芸術学部	学部総合講座「アートマネジメント」 (11/18)
講師	鳥取県総合芸術文化祭実行委員 会 (鳥取県文化観光局文化政策 課内)	とりアート (鳥取県総合芸術文化祭) 平 成 21 年度アートマネジメント研修大会 (12/12-13)
講師	財団法人新潟県文化振興財団	「アート・プロデュース講座」(1/7)
委員	静岡県県民部文化学術局文化政 策室	静岡県文化政策審議会委員 (2010/1/15-2012/1/14)
講師	町田市公民館	市民企画講座「アートの力、アートの可 能性：2」(2/14)
講師	社団法人日本経団連	「社会貢献基礎講座」(2/16)
講師	公益社団法人日本フィランソロ ピー協会	第 247 回定例セミナー「新しい公共」を どうつくるか?～企業における文化・芸 術支援の意義とは～ (2/22)
講師	社団法人日本芸能実演家団体協 議会	芸団協セミナー2010 「実務担当者向け マネジメント・ゼミナール」(3/2)
講師	多摩川アートラインプロジェクト 実行委員会、特定非営利活動 法人大田まちづくり芸術支援協 会	アートラインウィークエンド・シンポジ ウム～これからの街づくりにおける企 業の役割～ (3/20)
委員	財団法人アサヒビール芸術文化 財団	アサヒビール芸術文化財団 選考委員
委員	文化庁	文化庁文化ボランティア活動推進事業 審査委員 (2009/5/12-2011/3/31)
委員	文化庁	文化庁平成 22 年度芸術団体人材育成支 援事業協力者会議委員 (2009/12/21 -2011/3/31)
委員	文化庁	文化庁長官表彰 (文化芸術創造都市部 門) 選考委員 (2009 年度)

寄稿など（2件）

依頼内容	依頼元	内容（期間・開催日）
寄稿	大阪市政策企画室 都市問題研究会事務局	月刊誌『都市問題研究』特集：文化芸術政策の展望（10月発行号）
対談進行役	財団法人ソニー音楽芸術振興会	日本赤十字社発行『赤十字社新聞』掲載の「MIKIMOTO 日本赤十字社献血チャリティ・コンサート」開催20周年にあたる対談（11/5）

共催・後援・協力（14件）

※法人名は申請当時

依頼内容	依頼元	内容（期間・開催日）
後援	社団法人日本ユネスコ協会連盟	未来遺産運動（通年継続事業）
協力	日本経営クラブ	第26回JMC「ミドルの日【提言&コンサート】」（7/29）
後援	株式会社ホテルオークラ	第15回秘蔵の名品 アートコレクション展「日蘭通商400周年記念栄光のオランダ絵画展」（8/4～8/30）
後援	株式会社板室観光ホテル大黒屋	「菅木志雄の庭づくりによるアクティベーション」（9/1～9/3）
後援	横浜クリエイティブシティ国際会議2009実行委員会	「横浜クリエイティブシティ国際会議2009」（9/4～9/6）
後援	財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館	「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展（10/31-1/17）
後援	特定非営利活動法人アートNPOリンク	全国アートNPOフォーラム in 舞鶴（11/6-11/8）
後援	特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会	子ども☆文化キャンペーン アルニョス in 東京記念イベントシボジウム「文化の力で子どもが豊かに育つ地域に！」（11/19）
協力	文化芸術推進フォーラム	「文化芸術による人づくり、社会づくり、国づくり」シンポジウム（11/25）
後援	独立行政法人国際交流基金	国際会議「文化と環境」から日本の国際的役割を考える（通称：文化環境京都会議）（12/9-12/10）
後援	日本ファンドレイジング協会	「ファンドレイジング・日本2010」（2/6-2/7）
後援	世界劇場会議 国際フォーラム2010実行委員会	世界劇場会議 国際フォーラム2010（2/12-2/13）
後援	財団法人かながわ国際交流財団	第4回「21世紀ミュージアム・サミット」100人で語る美術館の未来～作品と人をつなぐ回路の設計にむけて～（2/27-28）

ほか1件

7.5 インターンシップ受け入れ

主に事務局内のライブラリー資料整理、セミナー・会議運営サポートなど、事業のアシスタントとして業務を担当いただきました。

派遣元・プログラム名	人数	期間
昭和音楽大学アートマネジメント専攻学生現場実習	1名	2008年7月6日～10月30日
個人	5名	2009年7月2日～7月29日(1名)、2009年4月1日～11月30日(1名)、2009年10月7日～2010年3月31日(1名)、2009年11月19日～2010年10月31日(1名)、2010年2月19日～2010年6月30日(1名)

以 上